

愛媛支部

東京2025デフリンピック応援イベントinえひめ



東京2025デフリンピックを前に、全国を回っているキャラバンが愛媛にも訪れました。9月6日には、イオンスタイル松山でバナー、メダル試作品展示、手話体験、バスケットボール女子代表の橋本選手のトークショーなどのイベントが開催されました。愛媛県イメージアップキャラクターの、みきゃん、ダークみきゃん、こみきゃんも登場して、イベントを盛り上げてくれました。また、キャラバンカーも展示されて、多くの人々の注目を集めていました。観戦に行く予定の方、未来の選手候補の子どもたち、たまたま買い物に来て興味を持った方など、たくさんの方々が立ち寄って、会場は大盛況でした。その後、キャラバンは県庁、市役所など県内7か所を回り、各地でデフリンピックへの理解と協力の輪を広げていきました。数日間という短い期間ではありましたが、貴重な機会となりました。ここでまかれた種が、愛媛県内で大きく育っていくことを願っています。

香・通・研 ぴよぴよちゃん講座

香川支部



その名の通り、これから育ち羽ばたいて行くであろう可愛い「ぴよぴよたち」のための講座です。入門講座受講中の方、講座を受けたことがない方や、サークルで学習中など自己学習をされている方を対象に呼びかけ開催しました。昨年度、開催したところ好評だったので今年度もということになり、高松・丸亀の2会場で10月26日（日）に開催しました。



両会場とも少人数ではありましたが、その分、充実した内容となりました。参加者からの感想は「参加できたことに感謝、手話講座を頑張っていきたい」「奉仕員の講座では学べない表現方法を楽しい雰囲気の中で学べた。」「私たちは想像以上に声のトーン、音で細かいニュアンスを伝え合っていることがわかった。」「入門クラスの講座はドキドキしなくて楽しめた。」などぴよぴよならではの雰囲気の中で学習できたようです。

香通研として、何か新しい行事を模索する中での講座で、担当した講師も初心にかえり、受講生と一緒に和気あいあいとした雰囲気の中で楽しむことができました。



毎年恒例の出前学習会



西部出前学習会は9月16日（火）19時～20時30分に「手話通訳をする時のコツ」をテーマに11名が集まりました。主な内容は、1. 自分の手話通訳現場を振り返る 2. 音声から手話へ 3. 手話から音声へ 4. ろう者の手話と聴者の手話 どこが違う？ 5. 聴者が苦手なCL表現 6. 手話通訳者としての理念です。入会して6年経つ会員がこの日初めて会う会員と担当した前田会長が楽しそうに話しているのを見てもっと話を聞きたかったとの感想がありました。東部出前学習会は9月21日（日）10時～11時30分に開催し、12名の出席がありました。内容は全国手話通訳問題研究会のこれまで・組織・活動・研究誌・とさ通研・機関誌・50周年記念誌の内容紹介・「新しい手話動画サイト」の見方や活用等々学び、手話表現のポイントや「間」で表現する手法もあり豊富で充実した時間でした。毎回参加者の感想を頂き機関紙に掲載しています。今年はあと1回ずつ開催の予定です。

高知支部

『キャラバンカー阿波路を走る』



9月13日（土）に高知県から引き継がれたキャラバンカーは、14日早朝に交流プラザで出発式を行い、すだち連の阿波踊りに見送られて三好市まで高速道路で向かいました。フレスポ阿波池田から、ゆうゆう館、ミライズ、フジグラン石井を回り1日目を終えました。15日は、県南の美波町、勝浦町、小松島市の道の駅を巡りました。16日は、イオンモールでのデフサッカー選手の西大輔さんの恩師との対談、手話コーナーなどデフリンピックの啓発活動のイベントをしました。最終日は、県知事・吉野川市長・徳島市長への表敬訪問を行いました。夕方5時に兵庫県と引継ぎのため洲本バスセンターまで移動し、4日間の活動を終えました。

地域の手話サークルの方々にキャラバンカーを迎えていただき、一緒にチラシ配布を頑張り、一緒に横断幕を掲げた集合写真をみると、どの顔も満足そうに笑っていました。実際に運動にかかわる楽しさを感じてもらえたのだと思います。この体験を活かして次への活動へと繋いでほしいと思いました。

徳島支部